



松山台



＝第9号＝

令和8年3月16日
練馬区立開進第二中学校

校長 平野 茂

3月の色：レグホーン

自立 よく考える人になろう・勤労 すすんで働く人になろう・協調 ともに助け合う人になろう

「積み重ねが人をつくる」

今 和7年度もあと9日で終わります。保護者の皆様には、1年間、本校の教育活動に対するご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

3月2日に今年度最後の全校朝会を行いました。そこでの校長の話をお伝えします。少し加筆編集をしています。

今 日は、「積み重ね」について、少しお話します。

アメリカには、年に一度、国中が注目するスポーツの決勝戦があります。日本でいえば、日本シリーズや、甲子園の決勝のような大舞台です。その試合に、11年間プロを続けて、初めて出場できた選手がいました。シアトル・シーホークスのジェイソン・マイヤーズ選手です。

人生で一番大きな試合です。普通なら強い緊張を感じるはずですが、ところがその選手は、こう言いました。「驚くほど落ち着いていた」と。自分でも不思議なくらい、静かな気持ちだったそうです。そしてその試合で、見事に大きな勝敗を決める役割を果たしました。

なぜ落ち着いていられたのか。特別な才能ではありません。彼は毎週、自分の状態を振り返り、記録をつけ、同じ準備を繰り返していました。呼吸の仕方、試合前の行動、考え方、自分への言葉がけまで整えていたそうです。本番で強い人は、本番だけ頑張る人ではありません。毎日を整えてきた人です。

3年生の皆さん、進路の結果が出る時期です。うれしい人もいれば、思うようにいかなかった人もいるでしょう。でも大切なのは、結果

そのものよりも、ここまで努力してきた時間です。そして、これからどう歩むかです。中学校卒業はゴールではありません。新しいスタートです。

1、2年生の皆さんも同じです。テストや行事の結果だけで自分を判断しないでください。昨日の自分より今日の自分がどうか。それを大切にしてください。

も う一つ、スポーツから話をします。ミラ

ノ・コルティナオリンピックが終わり、3月6日からパラリンピックが始まります。ミラノ・コルティナオリンピックからの話です。スノーボード女子パラレル大回転の決勝のレース中に転び、金メダルを逃した選手がいました。オーストリアのザビーネ・パイアー選手です。しかしゴールしたあと、その選手は笑顔で相手を祝福しました。なぜ笑顔だったのか。その選手にとっての勝ちとは、金メダルそのものではなく、けがや困難を乗り越えて、その舞台に立てたことだったからです。

ある指導者はこう言っています。「勝つとは、昨日の自分より今日の自分が少しでも成長していることだ」と。私たちは、どうしても人と比べてしまいます。しかし、本当に大切なのは、自分との比較です。

3 月10日は東京大空襲の日です。今から81年前のことです。その夜、一晩で約10万人の命が失われました。今、私たちが立っているこの東京の空の下で、かつて大きな悲しみがあつたという事実を、私たちは忘れてはいけません。

「忘れないこと」は、とても静かな行為です。

でも、とても強い行為でもあります。

平和は当たり前ではありません。学校に通い、友達と話し、勉強し、部活動ができること。それは、決して当然のものではないのです。

先ほどお話しした「積み重ね」は、個人の成長だけではありません。平和もまた、毎日の小さな積み重ねで守られています。相手を思いやること、言葉を大切にすること、違いを認め合うこと。そうした日々の態度が、社会の土台をつくっています。

校長 平野 茂

東日本大震災から

15年が経ちました

3月11日に避難訓練を行い、黙祷を捧げました。生徒には次の話をしました。

今日、3月11日は、東日本大震災が起きた日です。今から15年前の2011年3月11日午後2時46分、東北地方を中心に大きな地震が起これ、その後の津波によって多くの尊い命が失われました。

今から15年前ということは、ちょうど今の3年生が生まれた頃にあたります。3年生は平成22年4月から平成23年4月1日までに生まれた皆さんです。東日本大震災が起きたのは平成23年3月11日ですので、ほとんどの3年生は震災の前に生まれています。ただ、本校の3年生の中には、震災のあとに生まれた人も7名います。3月11日生まれの人はいませんが、翌日の3月12日、13日、14日と続けて誕生日の人がいます。おそらく家の人から当時のことを聞いたことがある人もいるのではないのでしょうか。

皆さんの多くは当時まだ小さく、震災の記憶がない人も多いと思います。しかし、日本で暮らしていく私たちは、この出来事を忘れては

いけません。災害から学び、命を守る行動を身に付けていくことが大切です。

この震災の中でよく知られている出来事に、「釜石の奇跡」と呼ばれるものがあります。岩手県釜石市の中学生たちは、地震のあと「津波が来るかもしれない」と考え、自分たちで判断してすぐに高台へ避難を始めました。そして途中で出会った小学生にも「一緒に逃げよう」と声をかけながら避難しました。その結果、多くの子供たちの命が守られました。

この出来事が示しているのは、「自分で判断して行動すること」と「周りの人を思いやること」の大切さです。避難訓練は、ただ決められた通りに動く練習ではありません。本当に災害が起きたときに、自分の命を守るためにどう行動するかを考えるための訓練です。

そして災害のときには、自分のことだけでなく、周りの人のことを考えることも大切です。困っている人がいれば声をかける。小さな行動でも、人の命を守るにつながります。

今日の避難訓練をきっかけに、もし本当に災害が起きたとき、自分はどう行動するのか、自分の命と周りの人の命をどう守るのかを、ぜひ考えてみてください。

そしてもう一つ、皆さんに伝えたいことがあります。今日ここにいる皆さん一人一人は、家族や周りの人たちの願いや希望の中で生まれてきました。そのことを忘れないでほしいと思います。自分の命を大切にすること、そして周りの人の命も大切にすること。その気持ちをこれからも持ち続けてください

今後の予定

- 3/19(木) 令和7年度 第77回卒業式
- 3/24(火) 令和7年度 離任式
- 3/25(水) 令和7年度 修了式
- 3/26(木) 春季休業始(～4/6)

春休み中の生活について

春休みは、学校では経験できないさまざまな体験ができる大切な時期です。一方で、生活リズムの乱れやSNSトラブル、事故などが起こりやすい時期でもあります。

お子様が安全で充実した春休みを過ごせるよう、次の点についてご家庭でもご確認と見守りをお願いいたします。

1 子供の様子をよく見守る

長期休業明けには、子供の不安や悩みが大きくなる場合があります。気になる様子が見られた場合は、学校や相談機関に遠慮なくご相談ください。

2 いじめやトラブルを見逃さない

いじめや友人関係のトラブルは、休業中も起こることがあります。「困ったときは必ず大人に相談する」ことをお子様に伝えてください。

3 SNS・スマートフォンの使い方を確認する

SNSやインターネットでのトラブルが増えています。

- ・ 悪口や個人情報を書き込まない
- ・ 写真や動画を安易に投稿しない
- ・ 長時間の利用にならない

など、ご家庭でも利用ルールを確認してください。

4 問題行動・犯罪に巻き込まれないようにする

次のような行動は、重大なトラブルや犯罪につながる可能性があります。

- ・ 深夜の外出や無断外泊
- ・ 万引きなどの非行
- ・ 飲酒、喫煙、薬物、オーバードーズ
- ・ 闇バイトやSNSでの危険な誘い

危険な誘いには絶対に関わらないよう、ご家庭でも話し合いをお願いします。

5 事故や犯罪から身を守る

交通事故や不審者による被害などを防ぐため、

- ・ 交通ルールを守る
- ・ 危険な場所に近づかない
- ・ 不安なことがあれば大人に相談することを改めて確認してください。

6 規則正しい生活を心掛ける

春休み中も

- ・ 早寝・早起き
 - ・ バランスの良い食事
 - ・ ゲームや動画の長時間利用を控える
- など、生活リズムを整えることが大切です。お子様の様子で心配なことがありましたら、学校までご連絡ください。

7 学校の相談窓口について

土・日・祝を除く平日の午前8時15分から午後4時45分までは、日直がおりますので電話等で連絡がつきます。

部活動等の欠席等の連絡は、春休み期間でもsigfyを通じて連絡ができます。部活動等で校外の活動時の連絡は、担当の教員がお伝えする連絡方法でお願いいたします。

土・日での緊急連絡はGoogleフォームの連絡窓口をご活用ください。必要に応じて教員が電話連絡等をいたします。

URL : <http://bit.ly/4lulWkj>

QRコード

